

福祉厚生委員会県外調査

調査日／平成26年8月5日・6日

調査地／熊本県熊本市植木健康福祉センター

(かがやき館)、福岡県久山町

調査事項／うえきモデル、健康増進事業について

熊本市の植木健康福祉センターかがやき館は、検診室、プール、トレーニング室などがある複合施設です。指定管理者としてこの施設を運営する株式会社くまもと健康支援研究所は、健康と医療、地元経済を一体化させることを目的として、「うえきモデル」という事業を実施しています。施設の利用者は利用回数に応じてポイントをため、地元商店街で使える商品券に交換することができます。また、医療機関と提携し、糖尿病の重症化を防止するため、患者を施設に紹介してもらおう

行っています。

一方、久山町は、昭和36年から九州大学との共同により、町ぐるみで健康診断、追跡調査、病理解剖を行う研究事業を実施しています。この事業の特徴として、高い特定健診受診率（約70パーセント）と病理解剖実施率（約80パーセント）、5年に1度実施する40歳以上の全住民を対象とした一斉健診などが挙げられます。この研究により、住民の健康問題や課題がわかり、異常の早期発見・治療につながっているという事です。

このようにどち

らの調査地とも、他の機関と連携した独自の取り組みにより、地域ぐるみで住民の健康づくりを実施していました。本町でも、多方面での連携を行い、住民のみならずの健康意識の高揚を図っていく必要があると感じました。



久山町での研修

皆さまから寄せられたお便り

- 自分たちの住む海田町の知らないところまでわかる「議会だより」は毎回必ず目を通して見ます。読むたびに、「～していきたい」、「検討する」ばかりで進まない。国、県がからむ事業優先で、町内事業は後回しな気がします。(40代 女性)
- 小学校の教室のエアコン工事がはじまったようです。(完了したそうです。)ありがとうございます。(30代 女性)
- 広場は静かだったが、少し歩いて東バイパスに出たら、大型車等の通行量が増えて老人、子どもには、危ないですね。(80代 女性)
- 家の近くの公園がブランコと大きな滑り台だけで、小さい子どもではちょっと遊びにくいです。家の前で遊ぶと騒音で苦情が来たりするので、もう少し公園を整備してもらえると嬉しいなと思います。(30代 女性)
- JRの連続立体交差事業は、海田町にとっては絶対に必要な事業であると考えています。(40代 男性)
- 先日新聞で東広島バイパスにあるひまわり畑がなくなる記事を見ました。長年ひまわり畑を管理されるのは本当に大変だったと思います。私たちが毎年ひまわりが咲くのを楽しみに見させて頂きました。ひまわりは海田町の花なので、ぜひまたひまわり畑を町内でして頂くと嬉しいです。(40代 女性)

※たくさんのお便り、ありがとうございました。これからもどんどんお寄せください。待っています。